



ホームページを常時SSL対応化 ～ http://がhttps:// に変わります ～

 保護されていない通信 | http://www.

GoogleChromeなどのブラウザを開いた時に、
このような表示が気になりませんか？



常時SSL対応化

 保護された通信 | https://www.

通信を暗号化して、安全に閲覧できる
信頼されるホームページをご提供します

Googleは、2017年10月よりChromeでwebサイトを閲覧する際に、
「HTTPSに対応していないサイトには警告表示を行う」と発表しました。

発表資料；https://security.googleblog.com/2019/10/no-more-mixed-messages-about-https_3.html

「保護されていない通信」という表示はその実例です。

サイト閲覧時に「保護されていません」というアラートがユーザーの画面上に表示され、
ユーザーに注意を促しているのです。

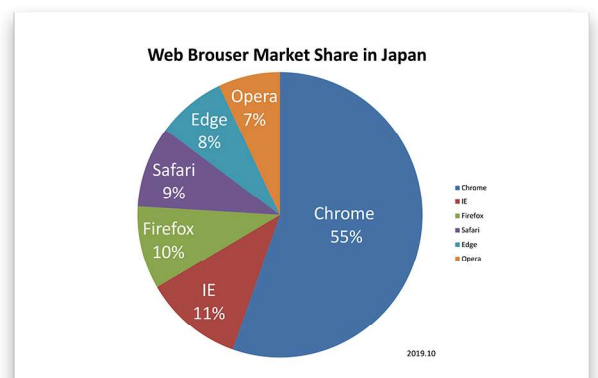
HTTPSに対応するためには、常時SSL化が必要です



SSL (Secure Sockets Layer) とは、
ウェブブラウザとウェブサーバ間でのデータ通信を暗号化し、
送受信させる仕組みのことです。
悪意ある第三者による盗聴を防いだり、送信される重要な情報の
改ざんを防ぐ役割を持っています。

全世界で利用されているブラウザの
半数以上がGoogle Chromeです。(2019年10月)

「世界標準」ともいえるGoogleの発表により、
他のブラウザ運用会社も同様の動きを取る可能性が高いため、
ホームページの提供を続けるためには、
常時SSL化は必要不可欠であるといえます。



データ参照元： <https://gsstatcounter.com/browser-market-share/desktop/japan>